

旅行取扱状況の概観（平成29年2月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比83.9%と前年を下回ったが、一般団体は同107.8%と前年を上回り、団体旅行合計で同101.2%と前年を上回った。企画旅行については前年比106.5%と前年を上回り、個人旅行については同106.0%と前年を上回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比105.1%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比93.0%と前年を下回ったが、一般団体は同113.8%と前年を上回り、団体旅行合計で同102.4%と前年を上回った。企画旅行については前年比91.7%と前年を下回り、個人旅行については同93.3%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比94.6%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比144.5%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の2月の総取扱額は前年比99.8%となり、前年から微減となった。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、学生団体は修学旅行などの取扱人数や取扱単価の減少により、前年比83.9%と前年を下回ったが、一般団体はSITや報奨旅行などの取扱人数の増加により、同107.7%と前年を上回った。

この結果、海外団体旅行合計で同101.1%と前年を上回った。

国内団体については、学生団体はスキー研修旅行などの取扱人数の減少により、前年比93.0%と前年を下回ったが、一般団体は企業系コンベンションなどの取扱人数の増加により、同113.5%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行合計で同102.2%と前年を上回った。

外国人旅行は前年比139.8%と前年を大きく上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、沖縄、信州方面は前年を上回ったが、他の方面などが伸び悩み取扱額で前年比87.2%と前年を下回った。

ホリデイについては、方面別取扱人数の状況では、ミクロネシア方面が伸び悩んだが、ハワイ、アメリカ、アジア、ヨーロッパ、オセアニア、台湾方面などが前年を上回り、取扱額で前年比101.3%と前年を上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、カナダ・アラスカ方面などが不振であったが、テロ等の影響を受けていたヨーロッパ方面が復調傾向にあり、フランス、ポルトガル、イタリア、エジプト方面などが好調に推移し、前年比106.8%と前年を上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道の流氷商品や北陸、関西、沖縄方面などが堅調に推移したが、九州や山陰山陽、四国方面などが伸び悩み、前年比92.4%と前年を下回った。

バス旅行部門は、軽井沢バス事故から1年が経過したが引き続き厳しい状況であった。自社オリジナルイベントなどへの送客は堅調に推移したが、例年の大型観光イベントにおける販売規制などの影響もあり、前年比98.2%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、知的好奇心を満たす「寺社仏閣めぐりの旅」、参加者全員がおひとりの「ひとり旅」などが好調であり、前年比102.5%と前年を上回った。